

# 「多発性骨髄腫の髄外再発の予後における CD45 の発現の検討」

当センターでは、下記のとおり臨床研究（学術研究）を実施しています。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、患者さんのプライバシーの保護については法令等を遵守いたします。

なお、あなたの試料・情報について、本研究への利用を望まれない場合には、問い合わせ先へご連絡ください。

## 1. 研究課題名

多発性骨髄腫の髄外再発の予後における CD45 の発現の検討

## 2. 研究の対象および研究対象期間

2007年1月～2018年12月に当センターで多発性骨髄腫の治療を受けられた方

## 2. 研究目的・方法

多発性骨髄腫の経過中に認められる髄外再発の頻度は近年増加しているが予後予測因子について明確なものはない。当院で2007年から2018年の間に多発性骨髄腫と診断された中で経過中に髄外再発を認めた症例を対象とする。髄外再発時の血液検査所見、骨髄中の骨髄腫細胞の表面抗原をフローサイトメトリー検査および免疫組織学的検査を用いて検討し、髄外再発の予後における表面抗原の発現効果に関し検討する。

### 研究期間

2007年1月1日～2018年12月31日

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、抗がん剤治療の治療歴、副作用等の発生状況、カルテ番号

試料：血液、骨髄血

## 4. お問い合わせ先

この研究についてご質問等ございましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象とはしませんので、下記にお申し出ください。資料・情報の使用を断られても患者さんに不利益が生じることはありません。なお、研究参加拒否の申出が、既に解析を開始又は結果公表等の後となり、当該措置を講じることが困難な場合もございます。その際には、十分にご説明させていただきます。

日本赤十字社和歌山医療センター 血液内科

研究担当医師 岡 智子

連絡先 073-422-4171（代表）（平日：9時00分～17時30分）